

# 環境水中の有害な化学成分を濃縮して 定量方法の開発、水環境における汚染調査



大学院理工学研究所(理学)  
准教授 波多 宣子

## 研究のキーワード

環境分析、分離分析、水環境、マイクロ抽出、高濃縮

## 研究の内容

環境水中の有害な化学成分(カドミウムなどの金属や多環芳香族炭化水素、ビスフェノールAなど)を濃縮して定量方法の開発をしています。また水環境—富山湾沿岸や河川—における汚染調査、例えば、有機汚濁の指標である化学的酸素要求量(COD)、リンや窒素、重金属などの調査をしています。

## 産学連携・特許

共同研究:富山湾海域モニタリング調査研究:(公財)環日本海環境協力センター、  
水中のホルムアルデヒド等を簡易的に測定する製品を研究開発する:(株)共立理化学研究所

## 科研費等外部資金

平成27-29年度 基盤研究C「有機イオン会合体相その場生成/マイクロ液相抽出法の基礎的研究と環境分析への応用」(代表)

平成23-25年度 基盤研究C一般「水相から生成させる有機イオン会合体への化学成分の分配挙動と環境分析への応用」(代表)

平成19-20年度 基盤研究C一般「液状イオン会合体の高濃縮抽出溶媒としての評価と環境分析への応用」(代表)

## その他、社会貢献・受賞など

富山市民大学「富山の環境の未来を学ぶ」講師

## 研究の概要図

